

RYOBI

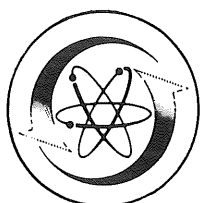
ウインチ

WI-211

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6982697



電子制御

●ご使用に当りましての注意事項

ウインチを使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 雨中での使用はモーター関係の電装保安の為、避けて下さい。
※屋外で使用される場合雨が掛からない様にシートを掛ける等して下さい。
- ワイヤロープには時々グリスアップして下さい。
- ウインチは確実な場所へ、確実に設置して下さい。
- ご使用前にワイヤロープがゆるんでいる場合は、きれいに、強く捲直して下さい。乱捲になりますとワイヤロープが食い込み、ワイヤロープ寿命を短くするばかりでなく吊揚能力も著しく低下します。
- ワイヤードラムに巻き付けてありますワイヤロープは全てを出さず、必ずワイヤードラムにワイヤロープを3m以上残して下さい。
- 延長コードを使用しますと、電圧降下を起し、ウインチの能力を低下させ、モーター寿命を縮めます。万一延長コードを使用される場合は、線断面積2mm²以上、コード長さ30m以内のものをご使用下さい。
- 作業中は安全の為、絶対に積荷の下を通らないようにして下さい。大変危険です。
- 十分にまわりの安全を確認した上でスイッチ操作を行って下さい。
- 運転中、ワイヤードラム、ワイヤロープには絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- ワイヤードラムにスイッチコードが巻き込まれないようにご注意願います。
- 昇降の荷が建造物、又は枠組等に触れないようにウインチ本体をセットして下さい。
- 最大吊揚荷重は200kgですので、これ以上の荷重は保安上絶対に避けて下さい。
- 荷の昇降は垂直に行ない、荷を吊上げる前には、ワイヤロープが真すぐに張った状態になっているかを確認して下さい。ワイヤロープにタルミがあると衝撃により、ワイヤがドラムに食い込み、ワイヤロープの寿命を著しく、低下させる原因となります。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は、異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 整備点検、部品交換の際は必ずさし込みプラグを電源より外して下さい。
- 作業場所には、作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には直ちに使用を中止して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。定期点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

●特 長

- 吊揚対象、作業環境に合った巻揚げ、巻戻し速度の選べる電子制御無段変速を採用しています。
- 重量物の下降時にも加速しないネジブレーキ機構を採用した安全設計です。
- 吊揚能力は、このクラス最大の200kgです。
- 軽量、コンパクトな設計に加え、操作スイッチは脱着可能なメタルコンセント付ですので、運搬、据付が簡単に行なえます。
- ワイヤーの巻き過ぎ、逆巻きを防止する過巻防止機構、逆巻防止機構を採用しております。
- 吊下げタイプとして据付の簡単にできる吊下げ金具付です。

●仕 様

- 電源……………単相 交流 100V
- 定格周波数……………50/60Hz
- 電格電流……………12A
- 消費電力……………1,100W
- 最大吊揚荷重……………200kg
- 吊揚速度…(200kg吊揚時)8~15m/分
- ワイヤーロープ……………5mm×30m
- 操作コード長……………10m
- 電源コード長……………5m
- 本体重量……………20kg
- 本体寸法……………275×290×610mm

●通常付属品

- 操作スイッチ (コード10m付)
- ワイヤーロープ 5mm×30m (本体付)

●特別通常付属品(別販売)

- 中継コード10m
(オス・メス メタルコンセント付)

●用 途

- 商品の積降し。ALC板等建築諸資材の荷揚げ。各種吊揚げ作業。

●乱巻防止について

- ワイヤーロープが乱巻の状態でご使用になりますと、機械の動作不良、故障、ワイヤーロープの早期損傷の原因になります。ワイヤーロープが正常に巻かれていることを確かめてからご使用下さい。
- 乱巻の防止には、次の事を注意して下さい。
 - ①ワイヤーロープを常に張った状態で使用して下さい。
- ワイヤーロープを出しすぎた場合や、巻直し、交換等の場合には、ワイヤーロープがゆるまないよう、負荷をかけて巻き上げて下さい。
- ②荷物の昇降は垂直に行なって下さい。

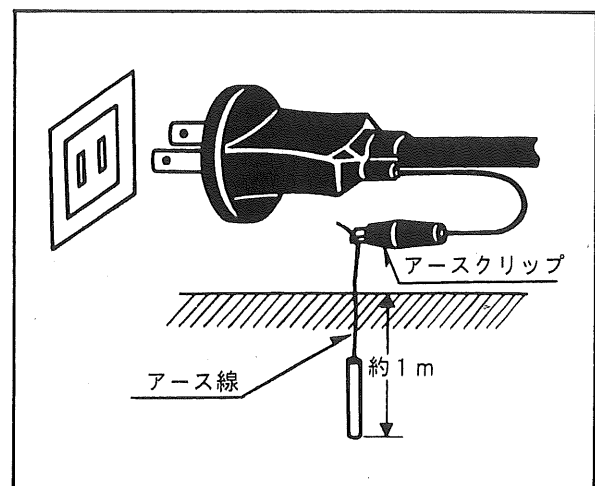
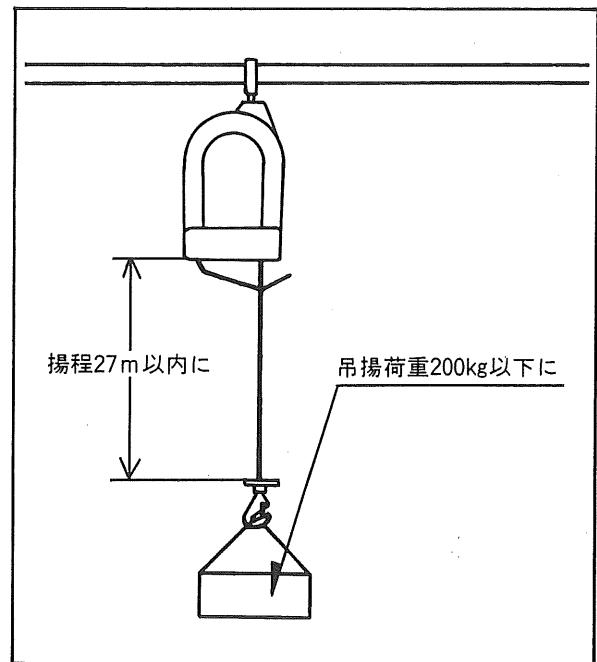
●揚程と最大吊揚荷重

- ワイヤーロープはワイヤードラムに30m巻付けてありますが、揚程27m以内とし、ワイヤードラムへ3m以上ワイヤーロープを巻付けた状態でご使用下さい。
- 本機の最大吊揚荷重は200kgです。200kg以上の吊揚げは絶対にしないで下さい。

●アース

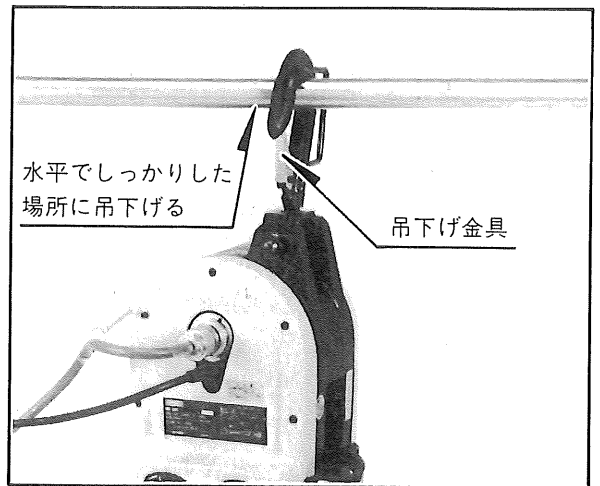
- 感電事故を防止する為に、ご使用に先だち、コード端にあるアースクリップを接地して下さい。

- 設置場所が傾いていたり、横方向に引っ張りながら巻き上げたりしますと、ワイヤーロープがドラムの片側に寄り、乱巻の原因になります。水平な場所に設置し、荷物は垂直に昇降させてください。
- ③損傷のないワイヤーロープをご使用下さい。
- ワイヤーロープにキンク箇所や損傷がありますと、巻き取りが不規則になり乱巻の原因となるばかりでなく、危険です。新しいワイヤーロープに交換して下さい。



●設置

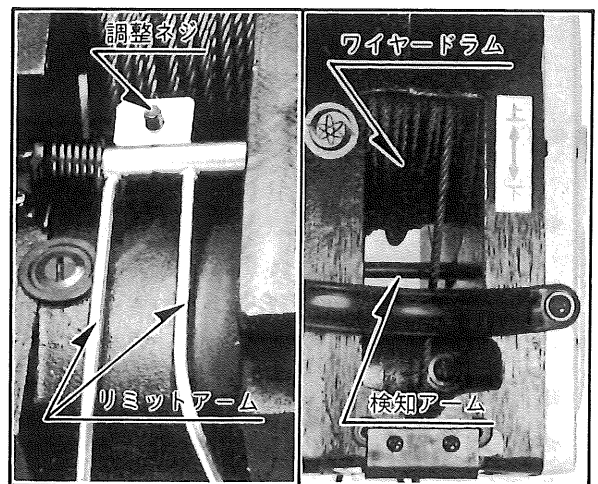
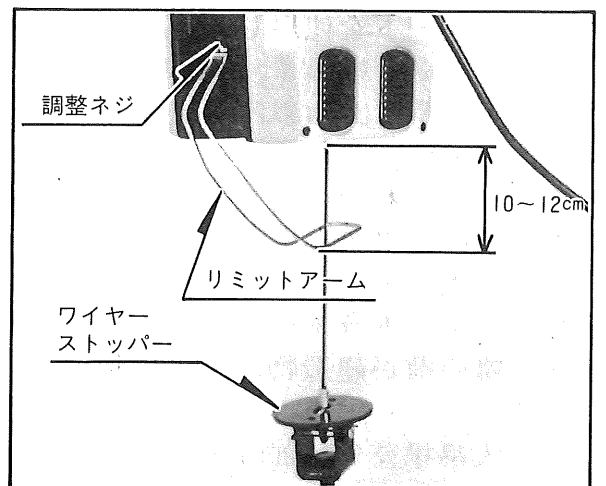
- 本体上部の吊下げ金具で、本体を吊下げてご使用下さい。
- 本機の吊下げは、水平でしっかりした場所（吊揚荷重プラス本体重量に十分耐えられること。）に設置して下さい。
本体が落下したり傾く場所は絶対に避けて下さい。



●過巻防止機構と

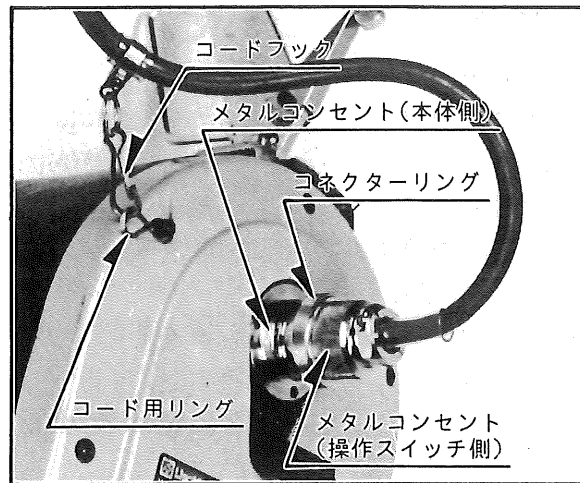
逆巻防止機構

- 安全と機械保護のため、ワイヤーロープの巻き過ぎを防止する過巻防止機構と逆向での巻き取りを防止する逆巻防止機構を備えております。
- 過巻防止機構はワイヤーストッパーがリミットアームに触れ、リミットスイッチが入ることにより電気ブレーキがかかり、巻揚げを停止する構造になっております。
- リミットアームと本体のスキマは、リミットアーム取付部の調整ネジを回して10~12cmに調整して下さい。
- ワイヤーロープの出しすぎや乱巻により、ワイヤーロープが逆巻きとなった場合、検知アームにワイヤーロープが触れモーターが停止し、逆巻きを防止する安全構造になっております。この場合ワイヤーロープを正しく巻き直して下さい。



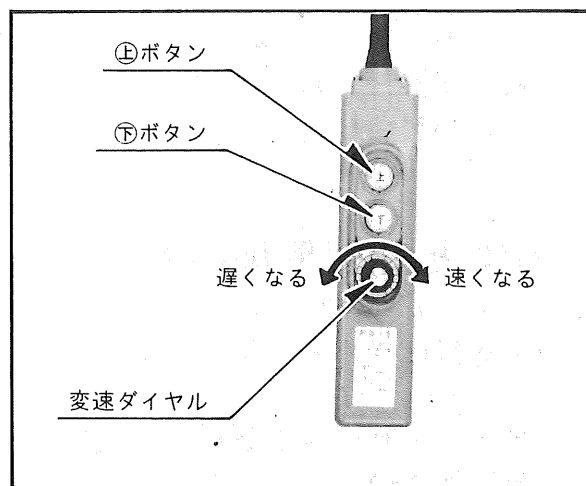
●操作スイッチの接続

- 本体横のメタルコンセント凹部と、操作スイッチのメタルコンセント凸部を合せて押し込み、コネクターリングを右に回してしっかり固定して下さい。
- 操作スイッチのコードフックは万一の事故に備えて、必ずコード用リングに掛けて下さい。
(ご注意) スイッチコードがワイヤードラムに巻込まれないように注意して下さい。



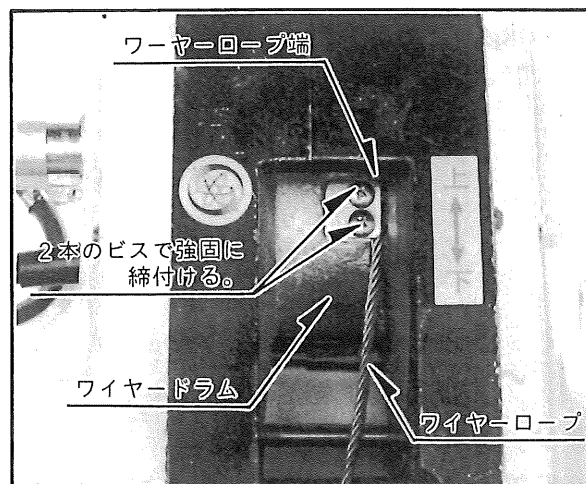
●スイッチの操作方法

- 巻揚げの時はスイッチの㊦のボタンを、巻戻しの際はスイッチの㊧のボタンを押し続けて下さい。スイッチボタンを離すと停止します。
- 巻揚げ、巻戻しスピードの調整は、スイッチ下部の変速ダイヤルを操作して下さい。ダイヤルを右に回すとワイヤードラムの回転は速く、左に回すと遅くなります。
- 巻揚スピードは、200kg吊揚げで8～15m/分の範囲で調整できます。



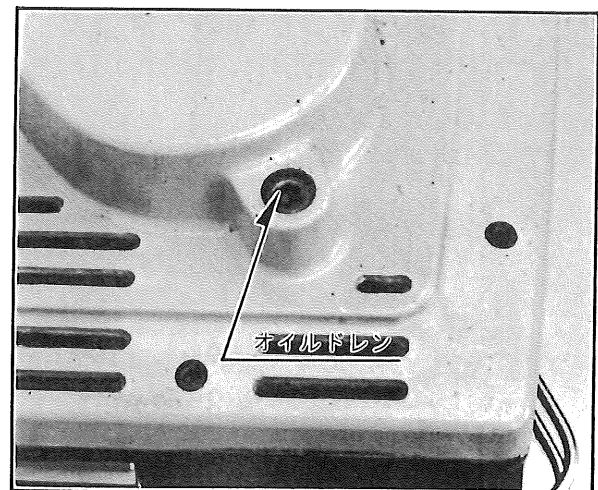
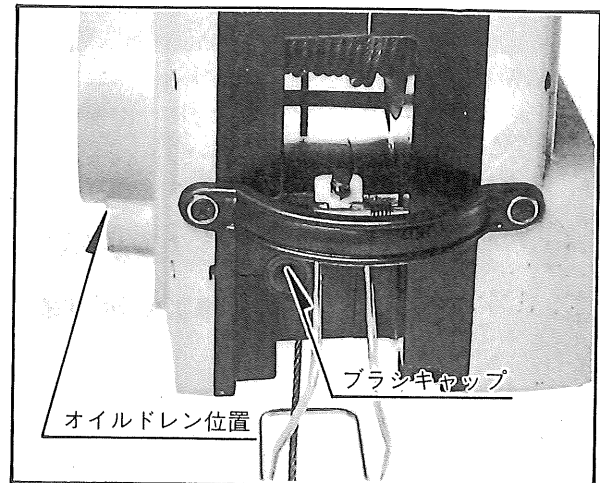
●ワイヤーロープの取替え

- ワイヤーロープの取替えは指定のもの(φ5 JIS A 3号普通Zより)を写真の要領でお取り替え下さい。
- ワイヤーロープの巻取りは、スイッチの㊦ボタンを押し、できるだけ固く乱巻にならないようにして下さい。
(ご注意) ワイヤーロープを取付ける際は必ず巻揚げ方向に回転させて巻取って下さい。ワイヤーロープの取替えの際、ワイヤードラムに手を巻き込まれないように注意してください。



●保守と点検

- カーボンブラシは消耗品です。本機にはしゃ断ブラシを採用しており、カーボンブラシが寿命に達すると電気をしゃ断しモーター回転を停止させます。新しいカーボンブラシと交換して下さい。
- カーボンブラシの交換はブラシキャップを⊖ドライバーで外すと簡単に行えます。カーボンブラシ交換の際は2ヶ所のカーボンブラシを同時に交換して下さい。
- カーボンブラシ交換時を目安にギヤオイルの交換を行なって下さい。機械の寿命をのばします。
- オイル交換は、オイルドレンをお手持ちの六角棒レンチで取外し、古くなったオイルを全部抜き取った後、指定オイル(コスモ石油 コスモマイティ68)を300cc注入して下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変わる事があります。



発売元

 **リョービ販売** 株式
RYOBI 会社

 **リョービ** 株式
RYOBI 会社